

第 84 回定期総会 議事録

開催日時 : 平成 30 年 4 月 21 日 (土) 10 時~14:30

開催場所 : ホテル紅や

総会出席者: 総数 129 名

(学校関係者 2 名 来賓 10 名 理事 3 5 名 会員 8 2 名)

司会: 宮坂 好恵 (理事)

記録: 五味 由美子 (理事)

上條 さつき (理事)

小松 美由紀 (理事)

第 1 部

1. 開会の辞

2. 物故者への黙とう

3. 校歌斉唱 (1 番・2 番・5 番)

4. 会長挨拶

昨年は創立 110 周年を迎え、また県下 5 番目の女学校として県立移管してから 100 年目にあたり、県立移管に奔走した初代校長岩垂今朝吉先生の 100 回忌にあたる歴史的年であった。同窓会の歴史の道を開いた先人の意識と共用の高さに感服するとともに継続してきた役員・理事及び支えてきた多くの会員に敬意を表したい。

110 周年事業は、限りある予算の中で、やるべき事業が、全て滞りなく遂行された。

しかし、同窓会活動に対する世代間の意識の差、維持会費の納入減少と会報送付の増加、地域単位支部組織の限界等、模索の時期がきていることも感じる。

同窓会はいざという時に学校を支える母校生徒達のための社会活動。学校支援のため、一層の同窓生の力の結集を心より願う。また温かい支援と協力にも感謝したい。

5. 学校長挨拶

同窓会からの支援に対するお礼と現二葉高校の報告。

今年度新入生男子 91 名 女子 151 名 計 242 名。

全校生徒は男子 287 名 女子 427 名 計 714 名。

昨年度 3 月の卒業生の主な進学状況は、国公立 59 名・私立 258 名。

クラブ活動では、陸上やスケートで全国大会に出場。他の部においても県大会出場や全国高等学校総合文化祭の県代表、書道展金賞受賞、NHK 合唱コンクール銀賞受賞など、活躍している。今年度のクラブ活動入部率は 3 年生 82%・2 年生 89%・1 年生 98.3%と非常に高くなっている。今後の二葉高校の活動の中で、学びの力で夢を実現し、これからの社会を生き抜く力をつけたい。また、少子化の進行や隣県・隣接の市への流出等の中で、諏訪地域全体の県立高校再編の方向性を検討しなければならない。地域の方々、同窓会の理解と協力をお願いしたい。

6. 来賓・客員・校内理事紹介

7. 来賓祝辞

高 3 回生 青木 (旧姓吉田) 恭子様 (高校 3 回) より、ご祝辞を賜る。

8. 議事

議長：遠藤 克江（理事） 河西 幸子（理事）

- (1) 平成 29 年度事業報告・収支決算報告及び監査報告・承認

議長は事業報告・決算報告及び監査報告を議場に諮り、承認された。

- (2) 平成 30・31 年度正副会長・監事紹介、承認

竹花会長は現正副会長及び監査役の全員が本総会の終結と同時に任期満了し退任となるにあたり、理事会において推薦された新役員を紹介した。議長は議場に可否を諮り、満場一致をもって承認された。

会長・・・岸 昌代（高 26）

副会長・・・味澤れい子（高 26）・武藤 桂子（高 25）・石澤 路子（高 25）

監事・・・津金喜美子（高 25）・有賀 直子（高 26）

- (3) 平成 30 年度事業計画案・予算案・承認

議長は事業計画案・予算案を議場に諮り、承認された。

- (4) 平成 28・29 年度役員退任挨拶

2 年間の任期を無事務めることができたことを役員一同深謝する。同窓会活動の継続、110 周年記念事業成功は使命であった。110 周年記念事業との同時進行について、先輩・後輩・先生方の助けに謝意を示す。

第 2 部

講演：「更生保護活動とは ～地域社会とともに歩む～」

講師：笠井嘉代子様（高校 12 回生）

保護司・長野県更生保護女性連盟会長

講演内容：別紙参照